

俳優：服部吉次
音楽家：黒田京子

（問
い
合
わ
せ
先
へ）
入場無料

剃刀横町のオペラ

日時：2025年12月15日(月)
18時開演

場所：神戸大学大学院人間発達環境学研究科
C111

連絡先：神戸大学大学院人間発達環境学研究科
人間発達専攻表現系講座 音楽学・音楽文化史ゼミ
担当：大田美佐子（音楽文化史ゼミ）

misaohata@kobe-u.ac.jp



劇団黒テント俳優

服部吉次



音楽家、ピアニスト

黒田京子



▼プロフィール

S19年11月29日東京生まれ。桐朋短期大学演劇科第一期卒業。演劇センター68を経て劇団黒テント創立、現在に至る。主な舞台『翼を燃やす天使たちの舞踏』『阿部定の犬』『三文オペラ』『上海ブギウギ1945』『青べか物語』最近は「ぼっかぶり」「皇国のダンサー」「軍服の似合うバートルビー」等出演。また1978年〈第一回アジア演劇会議〉に参加、アジア演劇人多数と国際交流し、共働作品、ワークショップネットワークの構築。また〈横浜こども科学館〉の『科学実験ショー』の企画を立上げ、子供たちと一緒に科学ミュージカルを約20年上演。シアターコクーン制作『上海バンスキング』、座・高円寺制作『旅とあいつとお姫さま』、沖縄りっかりっかフェスタ等に参加。

▼プロフィール

'80年代後半、自ら主宰した「オルト」では、池田篤(as)、村田陽一(tb)、大友良英(g,etc)等、ジャズだけでなく、演劇やエレクトロニクスの音楽家たちと脱ジャンルの場作りを行う。'90年以降、坂田明(as)などのバンドメンバーや、演劇や朗読の音楽などを長期に渡って務める。'04年から6年間余り、太田恵資(vn)と翠川敬基(vc)のピアノ・トリオで活動。'02年に出会った喜多直毅(vn)とは現在に至るまで主にデュオでの活動を続けている。近年はジャズはもとより、そのとき、その場で感じたことやイメージを大切に、即興演奏と音色を軸としたアプローチで、様々な楽器奏者や歌手と共演を行っている。'06年にはオルト・ミュージックを立ち上げ、コンサートの企画も手掛ける。

『剃刀横丁のオペラ』— カヴァレットとしての三文オペラに寄せて

今回上演される『剃刀横丁のオペラ』の背景には、時代を明治元年に読み替えた劇団黒テント版の『三文オペラ』(台本:山元清多、演出:佐藤信)があります。1928年以降、世界で上演されてきた三文オペラ上演史を振り返っても、色褪せることのない斬新な読み替えといきいきとした言葉。その伝説の公演で「マック・ザ・ナイフ」こと「モリタート」を歌ったのが、服部吉次さんでした。そして、軽妙洒脱な語りで繋ぐ服部さんのひとり語りと黒田さんのピアノ演奏による「剃刀横丁のオペラ」は、語りと歌を自由に往来するベルリンのカヴァレットのようであり、江戸前落語のようでもあります。特に服部さんの「ソング」のスタンスは絶妙です。ブレヒトの言葉とヴァイルの音楽を束ねた矢が突然鋭く放たれます。お二人の舞台は、100年近くさまざななかたちで上演されてきたこの作品の可能性を示すとともに、服部さんと黒田さんだから可能なかたちであることに気づかされるのです。この貴重な瞬間を皆様とご一緒できるなど、なんと幸せなことでしょう。(大田美佐子)